

●令和4年度 杉並区NPO活動資金助成事業 概要●

■助成対象事業

🏠 スタートアップ事業

設立5年未満の団体が、活動の基盤強化のために行う事業

👣 ステップアップ事業

団体活動の発展のために行い、将来的に区や他団体との連携・協働が期待できる事業

■助成額

上限30万円(1事業) 総額150万円

■審査方法

一次:書類審査 二次:プレゼンテーション

■助成の流れ

令和4年2~3月	4~5月	令和5年2月	3月	4月
募集 2/14~3/31 説明会 2/17	一次審査 二次審査 5/12(予定) 交付決定(通知) 助成金支払	事業実施・視察 (~令和5年2月)	事業報告書提出 助成金精算	4年度助成事業報告会 (4月予定)

■対象団体

- ①NPO法人、またはすぎなみ地域大学修了生が代表を務め、かつ修了生5名以上で構成される法人格を有していない設立から5年未満の団体
- ②主たる事務所を区内に有する、または区民対象の事業を行う団体
- ③反社会的勢力及び反社会的勢力と密接な関係にない団体
- ④無差別大量殺人行為を行っていない団体
- ⑤助成金の交付を2年連続で受けていない団体

■助成対象期間

交付決定日(5月下旬予定)~令和5年2月28日

※事業実施に関わる準備経費については4年4月1日以降を対象とする。

●杉並区NPO支援基金への寄附は●

杉並区NPO支援基金リーフレットに付いている郵便払込用紙を使って

郵便局からご寄附いただけます。リーフレットは、区役所、区民事務所、すぎなみ協働プラザなどに置いてあります。



窓口でご寄附いただく場合

地域課協働推進係へお越しください。その場でご寄附いただけます。

銀行からご寄附いただく場合

地域課協働推進係<03-3312-2381>へお電話ください。ゆうちょ銀行以外の金融機関からご寄附いただける納付書をお送りいたします。

インターネットからご寄附いただく場合

ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」の『杉並区』ページにアクセスしてください。



杉並区 ふるさとチョイス 検索

寄附には税制上の優遇があります

杉並区NPO支援基金への寄附は、「ふるさと納税」として取り扱われ、所得税・個人住民税からの控除を受けることができます。

●令和3年度にご寄附をいただいた皆様(50音順・敬称略)●

- 加藤 芳子
- NPO支援基金普及活動協力者
- NPO法人 すぎなみ子どもサポート
- NPO法人 防災コミュニティネットワーク
- 杉並「音のわConcert」代表 吉田 寛子
- 長尾 幸治
- NPO法人 すぎなみ子育てひろばchouchou
- NPO法人 DANKAIプロジェクト
- NPO法人 むさしの児童文化協会
- 西荻を楽しむ会 原田 直子
- 平田 敦子
- NPO法人 てんぐるま
- さくらの野町会

ほかに匿名・複数回寄附など..... 39件
 総寄附件数..... 52件
寄附合計額..... 6,810,813円



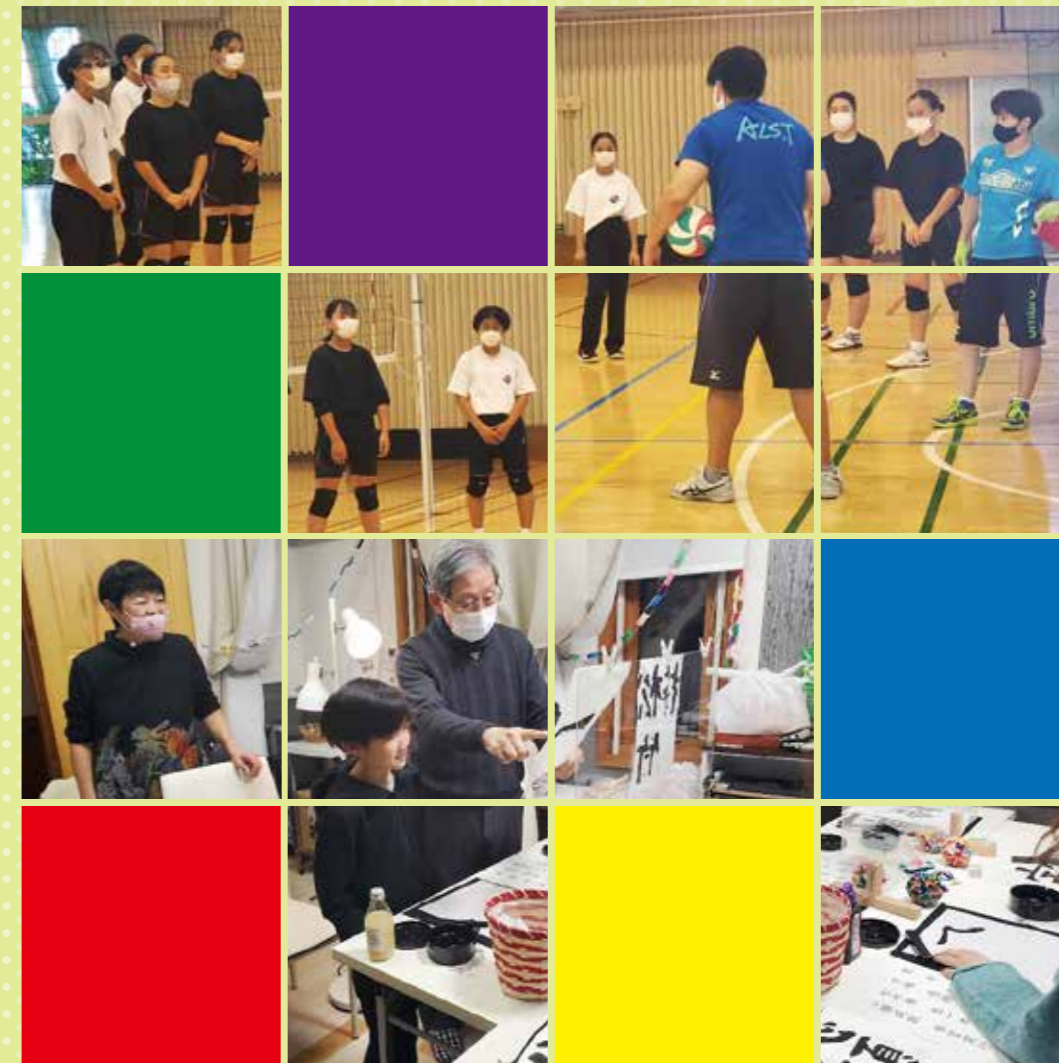
寄附のお申し出・お問い合わせは

杉並区区民生活部地域課協働推進係

杉並区成田東4-36-13 杉並区役所分庁舎2階 ☎03-3312-2381 FAX 03-3312-2387

令和3年度

杉並区NPO活動資金助成報告書



「社会のスキマ」を埋めるNPO活動を、寄附で応援してみませんか。

令和3年度も多くの皆さまにご寄附をいただき、

ありがとうございました。

子どもの健全育成、高齢者・障害者への支援、環境・まちづくり推進など、様々な分野に、行政の支援が行き届かない「社会のスキマ」ともいえる課題が潜んでいます。その課題解決に取り組む地域のNPO活動を応援するのがNPO支援基金です。皆さまから寄せられた寄附を活用して、NPOの地域貢献活動に助成金を交付しています。

令和3年度は、NPO7団体に対して総額1,274,103円を助成しました。

昨年度に引き続きコロナ禍で活動の制約がある中、各団体ともオンラインを活用したり、少人数で開催するなど、工夫を凝らして活動を行いました。人との繋がりの温かさや大切さを改めて感じる一年でした。

平成14年～

令和3年度の累計

- 寄附額: 約3,866万円
- 寄附件数: 699件
- 助成事業: 229件

令和3年度

寄附総額 **6,810,813**円

寄附件数 **52**件

助成事業 **7**件

令和3年度の助成事業紹介

地域学習推進事業(プロによる中学生の排球指導)

NPO法人 **すぎなみ子どもサポート**

【事業区分】**スタートアップ** 【助成額】160,000円

✉ suginami_kosapo@yahoo.co.jp

中学生の部活動は、無料で誰でも参加出来る文化・スポーツ活動入門の貴重な、そして思い出に残る機会です。しかし、今多くの学校では、生徒数減少や顧問不足により縮小傾向にあります。そこでまずバレーボールを採り上げ、昨年度に引き続き元Vリーグの選手等憧れのプロ指導者による「再現可能な合理的で質の高い練習方法」を学ぶプロジェクトを実施しました。

当初は複数校で合同練習を行う計画でしたが、コロナ禍のため、単独校での開催を余儀なくされました。会場を提供してくれた松ノ木中学校と向陽中学校でそれぞれ4回実施し、延べ84名の生徒が参加しました。参加した中学生からは、「知らないことを学べた。」「これからもバレーを頑張りたい。」などと前向きな感想が多く聞かれ、また、顧問教員やコーチからは再度の開催を望む声が強くなってきています。来年度は「他校との交流」を含めて実施していきます。



レッツボウサイプロジェクト防災食堂&防災ウォーク

NPO法人 **防災コミュニティネットワーク**

【事業区分】**スタートアップ** 【助成額】387,329円

☎ 050-3612-4429 ✉ info@bosaicn.net

🌐 http://bosaicn.net

「防災」から「ボウサイ」へ。様々な取組を通して、気軽に、身近に、楽しく防災活動を体験できるレッツボウサイプロジェクトを始動しました。今年度は防災食堂&防災ウォークを開催。防災食堂では、アルファ米を使用した防災カレーを配食し、「非常食を日常食に」をテーマに約500食を提供。多世代に渡り防災に関心を持っていただくきっかけ作りができました。防災ウォークでは、実際の避難を想定し、非常持ち出し袋を担いで避難場所を目指しました。普段なかなか意識することが少ない、街中にある防災情報を改めて確認することで、参加者の防災意識向上につながったと考えます。どちらの事業においても若い世代からのボランティア希望が多く、活動の大きな力になっています。今後は次世代を担う防災リーダーの育成にも注力してまいります。私たちは「レッツボウサイ」を合言葉に防災をプロデュースし地域課題の解決を目指します。



わが街アートカードで健康長寿

NPO法人 **竹箒の会**

【事業区分】**ステップアップ** 【助成額】180,000円

☎ 03-5378-8179 ✉ takebouki_suginami@tempo.ocn.ne.jp

🌐 http://www.takebouki.net/

区内のアート資産をアートカードにした「わが街アートカード」64種を作成するとともに、カードにあるアートを巡る「アート散歩」のためのMapを作成しました。そしてこれらを健康長寿に資するアイテムとして活用し、アートカードゲームとアート散歩を行いました。

アートカードゲームでは、参加者たちの自由な発想のもとでゲームが進んでいきます。時には、他の参加者の意外なものの見方に驚くこともありました。アート散歩では、区内での新しい発見もあり、体を動かしながら気持ちの良い時間を過ごしました。

私たちは、団塊世代が全て75歳になる令和7年に向けて、認知症予防などに有効な追加対策として「運動系」に加えて「コミュニケーション系」の対策の導入が有意義と考えています。孤立しやすい高齢者の仲間づくり・居場所づくり、認知症予防、健康長寿など超高齢社会の地域課題解決に向けて、今後わが街アートカードを活用していきます。



口演話の普及と講師養成

NPO法人 **むさしの児童文化協会**

【事業区分】**ステップアップ** 【助成額】126,371円

☎ 03-5930-1422 ✉ hk-patora@jcom.home.ne.jp

🌐 https://musashino-jidoubunka.jimdofree.com/

小学校や保育園、図書館、高齢者施設等で、絵本の読み聞かせや朗読などのお話語りを行いました。コロナ禍で中止や延期になることもありましたが、6月から2月末までで28回実施しました。

また、活動を継続、拡大していくためにお話語りを行う口演者の養成やスキルアップにも力を入れ、団体の会員や区内の保育士を対象にした、内部・外部講師による講習会を開催しました。外部講師の藤田浩子先生を招いて行った講習会では、お話語りの披露のほか、子ども向けの手遊びの紹介もあり、参加者から大変好評を得ました。

助成事業のほかには、茶道や着付けなどの和の文化に親しむ体験会などを定期的に行っています。私たちは、これらの活動への世代を超えた多くの方の参加を通じて、ふれあいや温もりのある地域づくりに取り組んでいます。そして、このつながりを活かして、子どもたちの健やかな成長を見守っていきます。



みんなの食堂ルンルンとルンルン学習室(無料)

NPO法人 **DANKAIプロジェクト**

【事業区分】**スタートアップ** 【助成額】158,800円

✉ michiharuk@mac.com

🌐 https://blog.canpan.info/runrun/

令和3年5月から善福寺2丁目の個人宅で子ども食堂(みんなの食堂ルンルン)を開始しました。17時半から小学生を対象とした学習室をオープンし、18時半からは希望者や保護者・スタッフ等を対象に夕食を提供しました。定員は学習室が5名、食堂が8名です。



6月から4年2月末まで27回実施し、7月7日には七夕の飾り付け、12月15日はドミノピザ提供のピザパーティ、12月22日はクリスマス会、1月12日には書初めを行いました。2月末までの延べ参加者は、小学生86名、ボランティア学生41名、スタッフ150名、講師・見学など35名、食事提供は260食でした。

この間、社会福祉協議会や民間企業などからの子ども食堂支援の輪が多く存在すること、近所の方がお掃除ボランティアを志願したり、ジャガイモのお裾分けがあったりなど、地域社会の底力も実感することができ、地域の居場所を継続するささやかな事業へのエールをいただきました。

杉並区内映画館での上映会

NPO法人 **COSMO FEST**

【事業区分】**ステップアップ** 【助成額】111,603円

✉ cosmofestjapan@gmail.com

🌐 http://cosmofest.org

平成26年のNPO法人化以降、自主制作映画の発展と杉並区内での映画文化振興のため、年に1回、座・高円寺にて全国から自主制作映画を集め(総募集数96作品から8作品を映画祭で上映)、映画祭を開催しています。

また、令和2年度から高円寺シアターバックスやラピュタ阿佐ヶ谷など杉並区内の映画館と協力し映画祭の優秀作品等の上映会を行っています。令和2年度は開催できませんでしたが、これまでも、久我山での子ども向け上映会や野外上映会などを開催してきました。

令和3年度は12月と2月に高円寺シアターバックスでの上映(コロナの影響で2月分はオンライン開催)を行い、3月にはラピュタ阿佐ヶ谷にて映画祭の優秀作品を上映しました。

杉並区民への知名度という点でまだまだ十分ではありませんが、区内での映画関係者との繋がりは強化されました。今後はさらに区に根付いた活動が行えるよう活動してまいります。



誰一人取り残さない学校教育を考える杉並アクション

NPO法人 **てんぐるま**

【事業区分】**ステップアップ** 【助成額】150,000円

☎ 080-4417-1831 ✉ info@tenguruma.org

🌐 https://www.tenguruma.org/

新型コロナウイルスの感染は、社会の分断を招き、影響は学校教育にまで及んでいます。本事業の目的は、SDGsの基本理念「誰一人取り残さない」社会に向けて学校教育のあり方を学び、考え、理解・啓発につなげることです。



10月に学校教育を考える学習会を開催しました。障害当事者から、普通学校に通い、一人暮らしを始めた経験が語られ、障害児を育てる保護者からは、就学決定までのプロセスや学校生活の体験などが紹介されました。

11月には、映画「みんなの学校」上映と、みんなの学校制作から10年経ったインクルーシブ教育のいまを考えるフォーラムを行い、映画製作者、障害当事者、保護者、教員それぞれの視点からインクルーシブ教育の現状が話されました。

そのほか、2月に、インクルーシブ教育を推進してこられた海老原宏美さん(故人)の講演映像のほか医療的ケア児支援法とインクルーシブ教育を考えるフォーラムの実施、障害児・介助者・保護者と教員の関係性を考える学習会を開催しました。これらのイベントを通じて、「誰一人取り残されない」社会への理解が深まったと感じています。